

診療情報を集めて行う臨床研究に関するお知らせとお願い

熊本機能病院（総合リハビリテーション部）では、「下肢人工関節置換術および大腿骨骨折術施行患者の術後経過へのパーキンソン病の影響」の研究に取り組んでいます。

研究の概要

パーキンソン病は進行性の難病の病気であり、さまざまな身体の障害を引き起こします。また、高齢なほど進行しやすく、身体機能が低下することで変形性関節症や転倒による骨折を合併することがあります。当院では変形性関節症や下肢の骨折をした患者さんに対して、人工関節置換術や骨接合術を行っており、適応の場合はパーキンソン病の方にも手術を行っています。パーキンソン病はさまざまな合併症を有していることがあり、海外では入院期間が長引いたり術後の合併症が起きやすいとされています。リハビリテーションを行う上では、一般的な手術後のリハビリテーションだけでなく、パーキンソン病による症状を考慮することが重要です。

今回の研究は、当院における下肢人工関節置換術、人工骨頭置換術または骨接合術を受けた通常の整形外科患者さんおよびパーキンソン病の患者さんについて、電子カルテより入院日数や術前術後の身体能力に関するデータを収集し、術後の治療経過や身体機能の回復などに差が生じるのかどうかを明らかにすることを目的としています。このことにより、入院期間や術後の身体機能にどの程度違いがあるのかを把握し、今後の入院期間の短縮やより質の高いリハビリテーションに貢献できると考えています。

対象となる方

当院に2020年4月1日～2023年4月1日の期間中入院し、下肢人工関節置換術、人工骨頭置換術または骨接合術を施行した患者さん

利用を開始する予定日

研究実施許可日から1週間後の日

研究期間

研究実施許可日 ~ 2024年10月31日

利用する診療情報

年齢、性別、診断名、手術の術式、入院日数、FIM（入退院時の総得点、運動FIM得点、認知FIM得点）

研究機関の名称：熊本機能病院 総合リハビリテーション部

研究責任者氏名：課長 三宮克彦

個人情報の取扱いについて

診療情報の利用に関しては、個人情報は全て匿名化されてから解析されますので個人情報が漏れることはありません。また研究結果は、学術雑誌や学会等での発表に使用させて頂くことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。

上記の研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき実施しております。この研究にあなたの診療情報が利用されることに同意できない場合は対象と致しませんので、お手数ですが下記のお問い合わせ先にご連絡ください。また、ご不明な点があるとき、または研究計画等に関する資料をお知りになりたい場合は他の対象者の個人情報や研究全体に支障となる事以外はお知らせすることができますので、ご連絡ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用

させていただくことに対して同意が得られたものとさせていただきます。また、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を被ることはありません。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

社会医療法人寿量会 理事長 米満弘一郎

お問い合わせ先

熊本機能病院 総合リハビリテーション部 理学療法士 平尾優弥

T E L : 096-345-8111(内線 2562)、F A X : 096-345-8188